

左よりタレントの栗田貴一さん、優勝者・渡辺勝治選手、有森システムリンク・萩原明会長、俳優の西岡徳馬さん



遊技機販売の大手・株式会社セイブシステムリンクのチャリティゴルフ大会&オークションは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングと競技会の場を提供するNPO法人・スペシャルオリンピックス（有森裕子理事長）の支援を目的としたもので、毎年多くの業界関係者、スポーツ・芸能関係者が参加している。同イベントは、スペシャルオリンピックスの細川佳代子名誉会長（細川善徳元首相夫人）と親交の深い萩原明会長が、細川さんの献身的な活動に感銘を受け、「スペシャルオリンピックスの活動を業界関係者芸能関係者に知って頂き、陰ながら支援し続けていきたい」（萩原明会長）との思いから会長自ら企画。今回の開催で6回目を迎える。スペシャルオリンピックスへ共感するスポーツ・芸能関係者、業界関係者の輪も年々広がるなか、今年は30名の芸能・スポーツ・文化人を含め、昨年を上回る124名がチャリティゴルフ&オークションに参加した。

チャリティゴルフを通じて 知的障害者支援に多大な貢献

View flash

株式会社セイブシステムリンクは9月9日、千葉県袖ヶ浦市の《カメラアヒルズカントリークラブ》で第6回チャリティゴルフ大会を開催。計337万1,500円の浄財をNPO法人スペシャルオリンピックス日本へ寄付した。

2009.9.9/カメラアヒルズカントリークラブ

競技終了後のチャリティオークションでは約237万円の浄財が集まり、これに同社が100万円を上乗せした総額337万円余りが、「スペシャルオリンピックス日本」に全額贈呈された。



3組に分かれて行われたゴルフ競技終了後は、チャリティオークションと表彰式が行われ、俳優の小野ヤスシさんの軽妙な司会のもとオークションがスタート。スポーツ・芸能関係者が次々と壇上に登壇し、自身の愛用品などを出品した。特に広島カープ元監督の古葉竹識氏から提供された「イチローのサインボール」は落札希望者が殺到するなど盛り上がりを見せ、オークション終了後には小野さんからチャリティイー寄付金額が337万円余に達した。

第6回大会に参加した芸能・スポーツ・文化人（アイウエオ順）

浅茅陽子（女優）、岩本恭香（タレント）、小野ヤスシ（俳優）、狩野史子（女子プロゴルファー）、栗田貴一（タレント）、古葉竹識（元プロ野球監督）、小柳ルミ子（歌手）、沢村忠（元キックボクシング世界チャンピオン）、財津一郎（俳優）、城咲仁（タレント）、勝呂豊（俳優）、角盈男（プロ野球解説者）、竹原慎二（元プロボクシング世界チャンピオン）、寺泉康（俳優）、中野浩一（元競輪世界チャンピオン）、西岡徳馬（俳優）、根本りつ子（女優）、野村将希（俳優）、畑山隆則（元プロボクシング世界チャンピオン）、左とん平（俳優）、富家規政（俳優）、藤巻潤（俳優）、横原真己（プロ野球解説者）、三浦真美子（タレント）、元木大介（プロ野球解説者）、森洋子（タレント）、矢部美穂（タレント）、山本淳一（タレント）、渡辺裕之（俳優）、渡辺めぐみ（タレント）。

広島カープ元監督の古葉竹識氏から提供された「イチローのサインボール」は落札希望者が殺到。30万円で落札されるなど盛り上がりを見せた。



ことが発表された。表彰式は会場内に歓声と悲鳴が入り交じる中進行。見事優勝に輝いたのはタレントの三浦真美子さん（アワト46イン49、グロス95、ハンデ25・2、ネット69・8）。三浦さんは「心臓が口から飛び出る思いです。このような大きな大会で優勝でき、スペシャルオリンピックスに貢献できたことは本当に嬉しい。今日一日、皆様と楽しく過ごさせて頂き感謝しています」と挨拶。会場は大きな拍手の渦に包まれた。



有森理事長から感謝状を手渡されるセイブシステムリンク・萩原明会長。

株式会社セイブシステムリンクは、去る9月9日に開催されたチャリティゴルフで集められた337万1,500円を認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本へ寄付した。同チャリティは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングと競技会の場を提供する認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本（有森裕子理事長）の支援を目的としたもので今回が6回目。贈呈式は9月19日に渋谷で開催された同法人の研修会会場にて行われ、同社の萩原明会長が有森理事長に寄付金を贈呈。萩原会長は今後も継続した支援を約束。有森理事長から感謝状が手渡された。

セイブシステムリンクが
SO日本に浄財を寄付